

- ❖ JAUNSは日本国際連合学会の英文名称、Japan Association for United Nations Studiesの略です。
- ❖ このニュースレターには学会の活動や会員の皆様へのお知らせを記載いたします。
- ❖ 学会へのご意見、ご質問などは事務局までお寄せください。

## 1. 2014年度 第2回 運営委員会報告

2015年2月27日(金)に、2014年度第2回運営委員会が開催され、2014年12月 東アジア国連システム・セミナー(日本開催)の報告、2015年10月 東アジア国連システム・セミナー(上海開催)の予定、2015年度 ACUNS 研究大会の予定、2015年度 JAUNS 研究大会の計画、学会誌『国連研究』第16号の進捗、編集要項の改訂、2014年度決算案および2015年度予算案、会員異動などについて検討が行われました。

## 2. 2014年度 東アジア国連システム・セミナー報告

2014年12月12日(金)～14日(日)に、‘East Asian Leadership in Addressing Complex Regional and Global Problems’をテーマに、第14回東アジア国連システム・セミナーが同志社大学で開催されました。参加者は、中国16名、韓国7名、日本22名、国連大学1名、そしてACUNSから1名でした。12日に行われた国連安保理と東アジアに関する基調講演の後、13日と14日の全体会では、地域の安定と協力的な関係、および、ポスト2015開発目標について、そして2つのワーキング・グループでは、平和維持、平和構築、人道、および、環境について3ヵ国からの報告と活発な討議が行われました。その他、中国と韓国の参加者の要請に答えて、13日の昼食時間には、14日に開催された衆議院議員総選挙の背景や動向、そして選挙の結果がもたらす政党間の国会での勢力関係と国内外の政策への影響に関する説明も行われました。

## 3. 編集委員会からのお知らせ

(1)『国連研究』第16号(特集テーマ:ジェンダーと国連)は、5月末頃に刊行の予定です。ご期待ください。また、第17号の特集テーマは、「国連:戦後70年の歩み、課題、展望」です。より詳しい内容については、6月の研究大会時にご案内を差し上げるとともに、日本国際連合学会のホームページに掲載しますので、そちらもご確認ください。

(2) 博士論文の刊行や書籍刊行にあたって、『国連研究』に掲載されたご自身の論稿を再録・転載する際には、申請書を編集委員会主任宛にお送りください。書式は学会ホームページに掲載いたしますので、ダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、お送りください。このことに関し、「編集要領」も改定いたしましたので、ホームページをご確認ください。

## 4. 2015年度研究大会のお知らせ

2015年度研究大会を、6月6日(土)に国立オリンピック記念青少年センターにおいて開催いたします。詳細が決まり次第、学会ホームページおよび郵送にてお知らせいたします。

## ○企画委員会からの連絡：2015年度研究大会、若手報告者の募集について

2015 年 6 月 6 日(土)に開催する 2015 年度研究大会において、「若手独立報告」セッションを設けます。報告を希望される方は、下記に従ってご応募ください。報告テーマは限定せず、国連研究の新たな可能性を示す、挑戦的萌芽的な報告を期待しています。なお、研究大会期間中のどの時間帯にセッションを設けるかは未定です。

1. 応募資格：大学院博士後期課程在籍者からおおむね大学・研究機関に就職して 2、3 年程度の方まで
2. 募集人数：最大 2 名（なお、ご報告テーマや職歴等に応じて、通常のセッションでの報告をお願いする場合があります）

### 3. 応募要領

日本国際連合学会企画委員会 (jauns.kikaku6☆gmail.com) 宛に、次の内容を明記したメールをお送りください。(☆は@に代えてメールしてください)

- ①氏名、所属・肩書き（博士後期課程在籍者は学年）、性別、年齢
- ②連絡先（もともと連絡のつきやすい E メールアドレスや携帯電話番号など）
- ③ご報告のタイトル
- ④ご報告要旨（800 字～1200 字程度。形式は問いません。なお、公刊済みの紀要論文等に基づいたご報告の場合は、その旨、お書き添え下さい。必要に応じて紀要論文をご提出いただく場合もあります）。
- ⑤その他、職歴等、ご報告に関連した参考情報があれば、適宜、書き添えて下さい。

4. 締切り：2015 年 4 月 30 日（延長する場合は、ホームページでお知らせします）

希望者に人数・テーマの重複等を勘案した上で、採否を決定します。採否決定にあたり、ご報告テーマについて、補足説明等をお願いしたり、ご報告内容の修正をお願いしたりする場合がありますのでご了承ください。

## 5. 2015 年度国連システム学術評議会 (ACUNS) 研究大会について

今年度の年次会議は”The UN at 70- Guaranteeing Security and Justice”と題するテーマで 6 月 11 日(木)より 13 日(土)までハーグで開催されます。全体会議でのテーマは以下の 4 題目です。

- (1) The Role of The Hague Institutions in Promoting International Justice
- (2) Balancing Law and Politics: What are the Tensions between Peace and Justice?
- (3) The Future of Global Governance and the UN: Ensuring Security and Justice
- (4) Global Equity and Global Justice: How Far will the SDGs Deliver?

なお、韓国国連学会の提案で、北朝鮮の人権問題に関する特別セッションも開催されます。詳しい内容や参加登録等については ACUNS のウェブサイト [<http://acuns.org/am2015/>] をご覧ください。参加される方は、渉外主任の長谷川祐弘先生までご一報くだされば幸いです。長谷川先生の連絡先は sukehirohasegawa☆gmail.com です。(☆は@に代えてメールしてください)

## 6. 入会の仮承認

2015年2月27日(金)の運営委員会において、入会希望者1名が仮承認されました。仮承認された会員は、会員と同様の資格で学会活動に参加できます。正式の承認は次回の理事会で行われます。

## 7. 国連大学からのお知らせ

国連大学では、日本の大学院生をアフリカの大学や研究機関に派遣し、修論や博論執筆に必要な現地調査の支援を行う「グローバルリーダーシップ人材育成事業 (GLTP)」の募集を行っています。詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。(募集締切は5月10日)

[http://ias.unu.edu/jp/news/announcements/global\\_leadership\\_training\\_programme\\_africa2015.html#info](http://ias.unu.edu/jp/news/announcements/global_leadership_training_programme_africa2015.html#info)

## 8. 会費納入のお願い

2014年度までの会費をご納入下さいますようお願い申し上げます。

振込先：ゆうちょ銀行 00130-2-87454 (加入者名は「日本国際連合学会」)

本学会は会費収入を主な財源として運営されておりますため、皆様のご協力が不可欠です。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。万一、行き違いの際はご容赦下さい。

なお、会費を2年以上お納め頂いていない場合には、理事会で協議した後に、会員としての資格を失うこととなりますのでご注意ください(日本国際連合学会規約第7項)。会費納入状況については、下記の事務局までメールでお問い合わせください。

❖ 諸事情により2014年度第2号のニュースレターの発行が遅れました。申し訳ありませんでした。

❖❖❖ 連絡先にご変更のある方は、事務局までお知らせ下さい。❖❖❖

〒310-8585 茨城県水戸市見和1-430-1 常磐大学

国際学部 渡部茂己研究室内 日本国際連合学会

事務局長 渡部 茂己

Fax : 029-232-2755

E-mail : jauns2013☆gmail.com (☆は@に代えてメールしてください)

日本国際連合学会 (JAUNS) ニュースレター2014年度第2号 : 2015年4月発行 広報委員会 (秋月弘子)